



平成27年2月12日

各 位

上場会社名 愛眼株式会社  
 代表者 代表取締役社長 下條 三千夫  
 (コード番号 9854)  
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 下 祥造  
 (TEL 06-6772-3383)

## 業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに併せて特別損失の計上をお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,389	77	136	28	1.47
今回修正予想(B)	15,627	△637	△569	△1,440	△74.21
増減額(B-A)	△1,762	△715	△705	△1,469	
増減率(%)	△10.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	16,996	△321	△198	△454	△23.43

#### 修正の理由

##### (1)平成27年3月期通期の業績予想の修正について

本日公表した平成27年3月期第3四半期決算短信のとおり、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減、天候不順等により業績が下降傾向となりました。また、年末商戦に向け各種キャンペーンを実施しお買い得感をアピールするとともに、新規店舗を開設し売上拡大に努めましたが、販売着数、単価とも回復せず、売上高の進捗が厳しい状況となりました。一方で、一層の経費の削減に努め利益の改善に取り組みましたが、下記(2)のとおり当該四半期において特別損失として減損損失を計上することとなり、営業利益、経常利益および当期純利益につきましても公表値を下回る見込みとなりましたので、平成27年3月期通期の業績予想を修正致します。

##### (2)特別損失の計上について

保有する固定資産について、依然厳しい経営環境が続いているため、財務健全性の観点から「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、資産の将来の回収可能性を検討した結果、平成27年3月期第3四半期会計期間におきまして、減損損失522百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、平成27年3月期第4四半期会計期間においても減損損失を追加計上する見込みであるため、平成27年3月期通期において、減損損失771百万円を計上する見込みであります。

上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上